

**デモトレードの目的**

**デモトレードの進め方 目標設定**

**デモトレードの進め方 課題を考える**

**値動きの勢いを見るとは**

**リアルトレード開始前のチェックポイント**

## 🌟 デモトレードの目的

5万円FXは、誰がやっても同じところで売買サインが出るというマニュアルではないので、自分の裁量・判断力をいかにスキルアップしていくかで結果が大きく違ってきます。

私は3ヶ月程度（最低でも1ヶ月）はデモトレードで練習することをお勧めしています。  
※デモトレードは必ずやってくださいね！いきなりリアルトレードは危険です！！

デモをやる目的は、「知る」から「出来る」の段階になることですが、一番重要なのは  
**自分の心理状態&行動パターンを掴むこと**です。

手法通りにやったら本当にプラスになるか？ という損益をデモの目的に考えている人が多いんですが、デモをやる目的はそうじゃない、と私は考えています。

損益よりも「その手法が自分に本当にあっているやり方なのかどうか」を確認すること、合っていないのであれば、どういうポイントを変更すべきなのか？を考えて、より自分に合うように、勝ちやすくするように修正・改善すべき点を明確にしていくことが、デモの目的だと思います。

具体的には、実際にその手法でトレードをしてみて

- ・うまくいくとき・いかないときはどういうときだったか
- ・それは相場状況が悪かったのか、自分がやりづらい何かがあったのか

などをリストアップして、うまくいくとき・いかないときに、自分はどのような行動パターンをとっていたか、どのような心理状況だったのかを把握して、うまくいかないときの状況をなるべく回避し、うまくいくときの状態をキープできるように何をすべきかを考えます。この何をすべきかを「課題」と呼んでいます。

値動きには波があるので、動くときもあれば動かないときもあって、トレード手法が通用しやすいときと、そうでないときがあります。1日30 pips以上取れることもあれば、マイナスで終わる日も当然あります。

勝てる時も負ける時も、ほぼ同じ気持ちで淡々と同じ行動パターンを取っているなら、トータルで勝てる確証が得られれば、そのまま続けて何の問題もないですけど、人間そんなにロボットのようにはいかないですよ。

なかなかうまく勝てない日、マイナスの日が続いてしまった場合には、焦ったり、ムキーッってなったりして^^、いつもと違う行動をしてしまってることって多いものです。

逆に、勝ててるときは有頂天になりがちなので、慎重にトレードしてたときにはしなかった行動を取ってることも多いです。

勝っても負けても、人それぞれいろんな心理状態に陥ると思うんですが、そういうときに、自分の心理状態によって行動パターンを変えていないか？ をチェックする必要があります。

同時に、自分が一番ストレスなく勝てている状況のときの心理状態&行動パターンもチェックします。

勝ち過ぎ・負け過ぎのときの行動を減らしつつ、ストレスなく勝ててときの心理状態と行動パターンを保てるようにするにはどうすればよいのか？

これを把握して、自分にとっての課題を見つけて、それをひとつひとつクリアしていくことでトレード手法を自分用にカスタマイズしていくのがデモを通してやるべきことだと私は考えています。

注意してほしいのは、もし、デモで損失が出ても最初は気にすることはない、という点です。目先の勝ち負けを気にすることは、極端に言うともデモの間はどうでもいいことです。

勝ち負け自体を気にしていると、焦ったり、イライラしたり、ネガティブなったりしがちです。こういうとき、「メンタルが弱いんだ…」とか「なんで負けちゃうんだろう？」とか考えてしまうと、ドツボにはまっていきます。

はっきり言って、そんなことは考える必要はありません！

私自身、負けトレーダーとして長い時間を過ごしてきたので…（泣）

トレードがうまくいかないときに

焦る・イライラする・キレル・自暴自棄になる・泣く・世の中を恨む  
ありとあらゆるネガティブな心理状態を経験したつもりです^^。

それをメンタルが弱いから…、キレル自分を変えないといけない…とか考えていた時期もあったんですが、人間の性格ってそうそう変えられるもんじゃないですよ。

でも、性格を変えるのは大変ですが、行動を少し変えるのは、意識すれば**割と簡単に**できます。それがあなたにとっての「課題」になります。

トレードで負けてしまうのって、ネガティブな心理状況をそのままトレードにぶつけているからだと思います。または、ポジティブすぎる有頂天な心理状況で甘いトレードをやっちゃうから。

冷静になったときに考えてみると、

1. トレードが少しくまういなくて、イライラしたり落ち込んできて、それがトレードに悪影響してきた
2. 悪影響のせいで、損失が膨らんできた
3. 損失が膨らんで、余計に躍起になって負け続けた

という流れが多いのではないですか？

「トレードがうまくいかない」のと、「負けてしまう（負け続けてしまう）」のって、全然別の問題で、そしてそれには段階があって、「負けてしまう（負け続けてしまう）」のは、「トレードがうまくいかない」状況の**必ず後に**やってくるんですよ。

なので、トレードがうまくいってない1のレベルのときに、すぐに気づいて、2・3に進まないようにすればよいわけです。自分の心理状況を把握するのはこのためです。

自分がどういうときに1→2→3になりやすいか、

実際に2、3まで突入したときにトレード成績がどうなるか、

1の段階で手を引いたらトレード成績がどうなるか、

をしっかりとデモで経験してみてください。

これがリアルだと笑えませんが、デモなので損益など気にせずに実験的にやってみてください。

1の段階での自分の心理状況を把握することを意識してみると、段々と客観的に自分のことを見られるようになってきます。そして、トレードに悪影響を及ぼすような心理状況になってきたら、さっさと逃げる＝行動を少し変える ようにするだけで、成績がぐっと良くなって精神的にも楽にトレードができるようになることに気づけると思います。

私はこの「行動を少し変える」ためにトレード・ルールを追加していきました。でも私の場合、ってことなので、デモをやりながら、自分に必要なルールはきちんと考えてくださいね！

## ● デモトレードの進め方 目標設定

5万円FXでは、1日20～30pipsを継続してコツコツ取っていくのが目標で、毎日それだけに集中していればOK！という単純な話なんですけど、それだと、必ず毎日20～30pips取れないとダメ！って必要以上にプレッシャーを感じてしまうこともあるんですよ。

そういうわけではなく週単位や月単位で、平均して1日20～30pips取れるようにすればいいので、分かりやすい動きのときにはなるべく多めに取って、分かりづらい日はサッサとトレード終了するように気持ちにメリハリをつけていくことが肝心です。

そのために、勝率と損益率の目標設定をしておくといいです。デモトレードをやった結果と目標との差を比較すれば、次に何をすべきか課題が明確にしやすいです。

デモトレードの結果は月単位で見るのが妥当かなと思います。

週単位だと良い意味での緊張感を保てていたり気合が入っているので、好成績が出ることがあります。つい、それをずっと続けられると考えてしまい、余計なプレッシャーになったり意地になったりしてしまって、後々のトレードに悪影響だったりしますので、1ヶ月単位で集計した結果が、現状で継続できる実力レベルと考えたほうがいいと思います。

【参考】私は月単位で以下の項目を集計しています。

- ・ 勝ち日数
- ・ 負け日数
- ・ 合計獲得pips
- ・ 勝ちpips
- ・ 負けpips
- ・ トレード回数合計
- ・ 勝ち回数
- ・ 負け回数
- ・ 勝率
- ・ 1回の勝ち平均pips
- ・ 1回の負け平均pips
- ・ 損益率
- ・ 1日あたり平均獲得pips
- ・ 1日あたりトレード回数

ちなみに私の2009年の集計結果はこちら↓のブログ記事にあります。

5万円スタートで300万達成：<http://fxceleb.blog60.fc2.com/blog-entry-158.html>

7・8月：<http://fxceleb.blog60.fc2.com/blog-entry-202.html>

9月：<http://fxceleb.blog60.fc2.com/blog-entry-236.html>

10月：<http://fxceleb.blog60.fc2.com/blog-entry-274.html>

11月：<http://fxceleb.blog60.fc2.com/blog-entry-302.html>

12月：<http://fxceleb.blog60.fc2.com/blog-entry-324.html>

5万円FXは損小利小スタイルでトレードしていくので、損益率は低めでもかまいませんが、その代わりに勝率は高めをキープしないと勝てません。

勝率	±0のときの 損益率
10%	9
20%	4
30%	2.33
40%	1.5
50%	1
60%	0.67
70%	0.43
80%	0.25
90%	0.11

勝率に対して、トータルとんとん±0になる損益率は左の表のようになります。この表以上の成績を出せないとトータルプラスにはならないってことです。

5万円FXの手法は裁量なので、人によって幅は出てくるとは思いますが原則通りにエントリーして決済にも慣れてきたら、勝率は大体7割弱くらいになると思います。なので、勝率は60～80%の間を目指す感じですよ。

勝率60%・70%・80%それぞれで、どのくらいの損益率を目指せばいいかの例を下表にしました。これは、1日に平均5回トレードしているとして、負けトレードはすべて▲20pipsと仮定した場合の例です。

勝率	1日平均20pips		1日平均30pips	
	損益率	勝ち平均: 負け平均	損益率	勝ち平均: 負け平均
60%	1	20:20	1.2	24:20
70%	0.75	15:20	0.9	18:20
80%	0.5	10:20	0.7	14:20

例えば、1日平均20pips獲得しようと思ったら、勝率60%で損益率1を目標にしたり、勝率70%で損益率0.75を目標にしたりすることになります。

※ただし、この例では1日平均5回トレードなので、回数がもっと少ない場合は、勝率か損益率をもう少し上げないと目標に届かないです。

最初の1ヶ月はまずデモをやってみて、その結果から大体どのくらいの目標でいこうか決めるといいかと思います。1ヶ月待てない！という方は、MT4とか過去チャートの画像でやってみて、その結果を元にすれば時間短縮ができていいと思います。

## ● デモトレードの進め方 課題を考える

デモトレードでは随時、自分にとっての次の課題は何か？を考えながら進めていきます。課題は常に掘り下げて考えるようにして、明確な行動に移せるレベルにしてください。

また、課題を考えたとき・実行するときのコツは、すべてを一度に改善しようとしなくていいこと！です。いきなり常勝トレーダーに変身はできないので、課題は細かく分けてひとつひとつクリアしていくようにします。

例えば、勝率と損益率を同時に改善しようとするのではなく、今週は勝率を上げることにだけ集中する！とか、今週は負けトレードのPIPSを減らすことにだけ集中する！とかにして、勝率を上げるには何をどうするか？を掘り下げていくようにします。

何か成功体験のある人って、新しいことにチャレンジしてもうまく進めることができますよね？それは成功体験からくる自信だったり、どういう風に進めたらうまくいくのか手順を体で知っていたりってことからだと思うんですが、トレードでも、どんな小さいことでもいいから成功体験を積み重ねることが自信になって、長期的に安定したトレード・スキルが身につけてきます。

でも一度にすべてうまくやろうとしたり、すぐにウハウハに勝てるようになろうとしたりするとどこかで破綻しちゃうんですよね・・・。

なので、課題はひとつひとつクリアして、確実にものにできてから次の課題に取り組むようにしたほうがいいです。トレード・スキルはある日突然身につくものではなくて、少しずつレベルアップしていった結果、気づいたらトレード・スキルの総合力が向上していて勝てるようになっていた！という感じです。

課題とかスキルとかいってもそんな大層なものではないですよ。

私は、エントリー後に必ずストップ注文を▲20 pipsに入れる というのが最初の課題でしたw

また、思いついたことはどんな小さなことでもいいからメモしておいて、課題を掘り下げて考えるときに使ってください。

課題はテクニックに関することと心理・メンタルに関することに大別できます。どちらも相互に関連してはいるんですが、掘り下げるときに、テクニックでいうと何をすべきか？ 心理面では何が要因なのか？ と分けて考えてみると、違う側面からいろいろと気づくことがあります。

トレードで継続して勝つには、自分の心理状況を把握してコントロールできるようにすることが最も重要だと私は考えていますが、心理的な問題を考えて改善するのって、答えが1つとは限らないし、矛盾もいっぱいあるので課題が明確にできずに混乱していきただけで、ドツボにはまりやすいんですね。考えても分からないから抽象的な「メンタルが弱いから」って一言で片付けられることが多いように思います。

でも、それだと勝てるようにはなれませんから、まずはテクニック的な面から課題は考えるようにしたほうが進めやすいと思います。心理的なことは、どこでどういう状態になったか、どう感じたか？ は書き留めておくようにしないとイケませんが。

私はテクニックの部分の課題を、以下の順に考えて練習していきました。

あくまで私の場合ですから、この順番通りにしたほうが良いという意味ではないので参考までに。手法・ルールの原則通りにエントリーできる、損切り▲20 pipsルールを守れるのは前提としています。

1. 負けを減らす 負けトレードになりそうな動きを事前に見極める → 勝率を上げる
2. エントリー後、負けトレードになりそうなら▲20 pipsより前に損切りする  
→ 損を減らして損益率を上げる
3. 勝ちトレードでは、確実に15 pips確保できるようにする
4. 勝ちトレードで利が伸びるところは出来るだけ伸ばせるようにする  
→ 利益を増やして損益率を上げる
5. 勝ちトレードで、分かりやすい動きのところだけエントリーするようにする  
→ 勝率・損益率ともに上げる

私は負けが続くと心が折れやすいタイプなので、「できるだけ負けないこと」を先に課題としてクリアするほうが自分に合っていたので、上記のような順番にしていきました。

1～5のそれぞれで、過去チャートでパターンを見極めるテクニックの部分を練習してから、デモで心理状態の把握。デモ後は、テクニックで足りないものは追加で練習して、テクニックでカバーしきれていないメンタルの問題については深く掘り下げて考えるようにしました。

1. の負けトレードには手を出さないようにして勝率を上げるのは、単純に考えて下図のようになりますという意味です。10回トレードした場合の回数で示しています。負けトレードを1回減らすだけで勝率はぐいぐい上がっていきますよね。

勝ち	負け	勝率
5	5	50%
5	4	56%
5	3	63%
5	2	71%
5	1	83%

勝ちの回数はそのままで、負けだけ減らそうとするのは、最初は少し難しいと感じるかもしれませんが、練習しながら課題も明確にしていくと段々と、

- ・ どのようなときは楽に勝てそうか
- ・ どのようなときは負けになりそうかの判断基準が見えてきます。

それは値動きの勢いだったり、チャートの形だったり、チェックすべき目安のレートだったりです。

最初からすべての判断基準が見えるわけではないので、勝ち負けを繰り返しながら、何に気をつけていけばいいのかをひとつひとつ身につけていくと、チェックすべき判断基準を総合的に自然に見れるようになっていく・・・という感じです。

これが出来るようになると、「エントリーが待てない」って心理状況はなくなってきます。判断基準が明確になると、手を出すとき以外の動きは普通に無視できるというか、興味がなくなる感じに私の場合はなっていました。

また、次の課題であるエントリー後の損を減らす・利を伸ばす練習・訓練をするときは、すでに判断基準が落ち着いて見られる状態になっているので、楽に進めるようになっていました。

損切りと利食いは、どちらかというテクニックより心理的抵抗との戦いのほうが大きいので、判断基準をある程度、総合的に見られるようになっていくと、あとは決断したことを行動に移せるかどうかだけになってきます。

決断というのは、利を伸ばすために我慢するとか、粘らずに損切りするとかの意思決定のことです。判断基準をもとに、こうしようと決めることはできても、実際にトレードしているとなかなかその通りに行動できないことが多いですが、それは心理的に葛藤があるからですよね。

それをいかに乗り越えて安定した成績を上げていくか、が次のメインの課題になりました。

損切り・利食いで感じる心理的葛藤を乗り越えていくには、メンタルを強くする！などの抽象的なことではないです。私は具体的に、損失を何pipsまでに抑えるか、利益は何pipsは確保するか、を練習してクリアしていきました。

2. の負けトレードでの損失を▲20pips以下に減らしていく については、下表をもとにして考えました。

※これは1日平均5回トレードしていた場合の数字です。

※ピンクは、その勝率と勝ち平均がクリアできれば損切り▲20pipsルールのみまで目標達成

勝ち平均はすべて+15pipsの場合

勝率	1日平均20pips		1日平均30pips	
	損益率	負け平均 pips	損益率	負け平均 pips
50%	2.14	7	5	3
56%	1.67	9	3.75	4
63%	1.25	12	3	5
71%	0.83	18	1.88	8
83%	0.43	35	1	15

勝ち平均はすべて+20pipsの場合

勝率	1日平均20pips		1日平均30pips	
	損益率	負け平均 pips	損益率	負け平均 pips
50%	1.67	12	2.5	8
56%	1.33	15	2	10
63%	1	20	1.43	14
71%	0.67	30	1	20
83%	0.33	60	0.5	40

手法の検証段階で、私は勝ちトレードの1回のエントリーで最低15pipsは取れそうだと考えていたので、まずは勝ち平均15pipsだった場合を基本にした左の表で考えました。

負けトレードに手を出さない練習の段階で私の勝率は75%くらいだったので、

1日平均30pips獲得を目標にすると、1回あたりの負けトレード平均を10~15pipsに抑えることが課題になりました。

それを課題にしたからといって、▲10~15pipsの含み損発生ですぐに損切りするわけではないです。なるべく損を小さく出来るようなポイントでエントリーするようにタイミングを考えたり、値動きが逆行したり停滞したときの雰囲気を感じ取れるようにしたりして、明らかに▲20pipsの負けになりそうだと早めに気づくための練習をしました。

練習段階ではそれほど成績向上できなくて、平均▲18pipsくらいに抑えられるかどうかくらいでした。しかし、リアルトレード開始後に段々と早めの損切り判断ができるようになってきましたので、集中して練習するのは重要なんですが、ここでは課題の数字がクリアできないからといって立ち止まる必要はないと思います。

ただし、ビビって損切りという心理状態はなくしておかないといけません。損切りの判断基準が自分なりに明確で、それをもとに決断して損切りした、という状態にはならないといけません。

3. 勝ちトレードでは、確実に15 pips確保できるようにするのは前に書いた通り、検証の段階で15 pipsは取れるはずと考えていたので、それを実行できるように練習しました。最初から「15 pips絶対取る」とか「取れるだけの利益は絶対取る」という風にやろうとすると、うまくいかないことが多いかもしれませんので、まずは15 pipsじゃなくても、10 pipsでも5 pipsでもいいので、確実に決めたpipsを取ってみる練習を繰り返したほうがいいのかと思います。利食い後に取り逃がしたとか、薄利決済してしまったなんてことは考えなくていいです。決めたこと=課題 をクリアできるのかどうか重要です。逆に、取り逃がしたとか薄利決済した・・・と後悔するようであれば、トレードスキルを向上させることより、勝ちたい・稼ぎたいって欲望に捉われている証拠だと思います。

例えば、5 pipsで利食いするのを課題にしていたとして、5 pips確実に利食いできるようになったあと10 pipsに変更してみると、5 pipsで利食いしていたときの値動きの感じと、10 pipsまで待つときの値動きとの違いが分かるようになってくると思います。最初はドキドキして心理的葛藤のほうが大きいかもしれませんが、徐々に慣れてきて、値動きの勢いというのがどういうものなのかが感じ取れるようになってくると思います。

ポジを持っていなくて値動きを見ているときより、エントリー後に値動きを見ているときのほうが、やはり冷静さが欠けてくることが多いので、ポジ保有中に値動きの勢いを感じ取れるようになることが大切です。

私の場合は、含み損が発生したときより、含み益が発生したときのほうが、冷静でいられなくなるが多かったです。利食い後の再エントリーの判断が、欲に目がくらみやすくなったり怖くなって見逃して後悔することがよくありました。そういうときは、チャートを素直に見ていれば、すべて教えてくれると何度も言い聞かせていました。

また、大きく動いたところでは1度利食いしたあとに、再度エントリーするかどうかを、ちゃんと値動きを見極めたうえでエントリーする練習もしました。トレンドの勢いが中くらいで、20 pips程度伸びてから押し目・戻りを形成しながらトレンドが続く場合と、勢いが強くて一気にトレンド発生・伸びていく場合との違いを見極める練習をすることになるので、どのくらい動きそうな感じか、どこまで伸びたら停滞することが多いのか、どういうレート（サポート・レジスタンス）が重要になるのか、などを落ち着いて見る訓練をすることになります。

4. 勝ちトレードで利が伸びるところは出来るだけ伸ばせるようにする のは3の下地もあるので割と進めやすいとは思いますが、私の場合は心理的葛藤が大きかったので、まずは、すごく分かりやすい陽線続き・陰線続きのようなところで、足の色が反転するまでは利食いを待てるようにすることから始めました。

それ以外では、出来るだけ利を伸ばすのと、欲張るのとは紙一重なところがあるので、目標の30 pips到達したら利食いするとか、チャートで目安のレートまでいったら利食いするとかを決めて、それをクリアすれば合格！その後もっと伸びても気にしない！ようにしていました。

とはいえ、もともと利小狙いでOKで、そこまで利を伸ばせるようにしなくてもよいので、損切りを減らす練習のときのように、利食いの目標も下表を参考に、そこまで欲張る気持ちを持つのは危険！と自分に言い聞かせるようにしました。

※これは1日平均5回トレードしていた場合の数字です。

負け平均はすべて▲15 pipsの場合

勝率	1日平均20 pips		1日平均30 pips	
	損益率	勝ち平均 pips	損益率	勝ち平均 pips
50%	1.67	25	1.8	27
56%	1.33	20	1.6	24
63%	1.13	17	1.4	21
71%	0.93	14	1.2	18
83%	0.73	11	1	15

負け平均はすべて▲20 pipsの場合

勝率	1日平均20 pips		1日平均30 pips	
	損益率	勝ち平均 pips	損益率	勝ち平均 pips
50%	1.4	28	1.6	32
56%	1.2	24	1.4	28
63%	1	20	1.2	24
71%	0.8	16	1	20
83%	0.6	12	0.8	16

私は、損切りを減らす練習ではそこまで成績改善できなかったもので、右表の負け平均が▲20 pipsで1日平均30 pips獲得を目標にすると、勝率71%のところを見ると勝ち平均は20 pips必要になります。そこで、できるだけ1回の勝ちで20 pipsは取れるようにしたいが、15 pips確保プラス何回かほぼ確実に取れるところで勝ちを積み重ねて、1日平均30 pipsクリアできるようにしていくのでもOKと考えて進めていきました。

利食いは上限を特に設けていない分、大きく取りたい欲望との戦いになることが多かったです。取り逃がしたと悔しい思いを引きずっていると、その後のトレードにも悪影響なので、特に心理面で「足るを知る」ことができるようになるのが一番の課題でした。

段々慣れてくると、取り逃がしたことは気にならなくなり、目標をクリアできたからOKだ！と普通に考えられるようになっていきました。

最後の 5. 勝ちトレードで、分かりやすい動きのところだけエントリーするようにするのはデモの段階では、私はあまりうまくできていなかったです。分かりやすい動きと思ったけどそれほど利益が伸びないところだった・・・みたいなことはよくありました。でも、1～4の練習をした時点でリアルトレード開始しても大丈夫と思っていたので、5. は上達する段階の課題と考えて、リアルトレードを開始しました。

過去チャートやデモでしっかり練習してきたことを、そのままやるだけとはいえ、やはりリアルトレードでは思うようなトレードができないこともあったので、デモとリアルの口座を両方開いておいて、自信があるときはリアルで、ちょっと迷いや不安があるかな・・・というときはデモでエントリーしていたこともあります。

また、週末に過去チャートの画像の右側を隠しながら仮想トレードをやってみて、その結果とリアルトレードの結果とを比較したり、過去チャート画像に理想のエントリー&決済ポイントを書き込んでイメージトレーニングをしたりしていました。

トレードは、ある日いきなり勝てるようになってたり、劇的にトレード・スキルが向上するわけではないです。

日々コツコツ地道に努力を積み重ねて、焦らずくさらず、愚痴はその日のうちに全部吐き出して最終的に前向きな言葉で1日を締めくくるようにすれば、気づいたときには冷静に淡々とトレードできるようになっていると思います。

勝ち負けはただの結果だし、自分の課題を明確にする道しるべとして使うだけのものなので、目先の勝ち負けや損益にこだわるのではなく、

トレードスキル向上するためには、今の自分にとっての課題は何か??  
何をどうすべきか??

それを常に考えて行動するようにすれば、想像以上に早く勝てるトレーダーになれると思います。

成長曲線は右肩上がりの二次曲線（複利効果のグラフみたいな感じ）を描くので、最初は苦しいと感じるかもしれませんが、そこを乗り越えると、かなり楽だし稼げて楽しくなってくると思いますので、めげずに前進していきましょう！！

## ● 値動きの勢いを見るとは

手法のところで、基本のエントリー条件として

- ・ロングの場合は、サポートで反発・上昇したのを確認してからエントリー
- ・ショートの場合は、レジスタンスで反発・下降したのを確認してからエントリー
- ・反発・上昇したのは5分足で陽線確定、反発・下降したのは5分足で陰線確定

と説明しましたが、これは逆張り発想エントリーではなく順張り発想エントリーのほうが安全・確実であることが多いから、基本に考えようという意味です。

しかし、デモで実践してみると、5分足確定まで待つと「待ちすぎてしまう」状況になることは結構あります。最終的には、値動きの勢いというものをしっかり観察して、感覚を磨いて臨機応変に5分足確定まで待たずに早目にエントリーできるように練習・訓練する必要があります。この「値動きの勢いを見る」という感覚が、いまいち伝えきれていないように感じていました。

で、ずっと理由を考えていたのですが、もしかするとFXを始めたときのやり方が影響しているのかもしれないと思い当たりました。

私がFXを始めたのは確か「ネットで稼ぐ！」関連のサイトを徘徊しているときに、FXという言葉を知って、いろいろ検索していくうちに見つけた、とある商材を手にしてからなんですよ。その当時はそれほどFX関連の情報ってなくて、（私が見つけられてなかっただけかも^^）ついその商材に飛びついてしまったんですね。

その商材は、ローソク足がびよんと伸びた方向に飛び乗るだけで稼げます みたいなレベルの内容で、今になって考えると「・・・ヤバいの掴んじゃった。」と思うんですが、その当時の私は何も知らなかったので、「そうなんだ、FXってそういう風にトレードするもんなんだ。」って普通に思ってたんですね。テクニカルとかインジなんて存在すら知らなくて、それに時間軸の違うチャートを見ることすら知らないし気づいてもなくて、5分か10分のローソク足だけ表示したチャートを見て、びよんと動くのを観察してエントリーを決めていました。

これ、実話ですよ・・・w

私はFXへの最初の導入がそういう感じだったので、自分で値動きを見るのが普通のやり方って刷り込まれているところがあって、テクニカルやインジは、その自分の脳みその判断・感覚の補助ツールに過ぎない、というのがすんなり受け入れられるんですね。

自分の脳みそ・感覚が最上級で、テクニカル・インジはそれほど信用してない、みたいな感じ。

そういう感覚を持つべきだとか、インジに頼るな！とかは全く考えてないですよ。使えるツールは有効活用しないともったいない、と思っています。

私が移動平均線だけ使ってトレードしているのは、他のインジが有効じゃない・使えないと判断して外していった結果、シンプルなチャートになりました、という流れではなくて、もともとローソク足だけ見てトレードすることに慣れてしまっていたからか、たくさんインジを表示させたチャートだと、値動き自体がよく見えなくなるから「うっとうしい」って感じるし、チャート複数並べて監視するのが苦手なのと一緒に、たくさんインジがあるとどれをどう見るのか混乱してきて、トレードできないんですけど・・・ってなっちゃうんですね。

でも最初に、インジを設定して売買サインを出してトレードする というやり方で始めた人だと全く違う感覚を持っていて、「値動きの勢いを見るって一体何？」と感じるのではないだろうかと思いついたわけです。

たまに、「こういう場合はどう見極めればいいのか？」「こういうときに明確な判断基準は何があるか？」と質問されることがあるんですが、正直に言うと、最初は何を聞かれてるのがよく分からなくて、「それは・・・ケースバイケースだし、だからこそ毎日、値動きの勢いをしっかり観察するしかないんですけど・・・。明確な判断基準が存在するなら私が教えて欲しいし、確実に見極める方法も存在するのなら私が知りたいです・・・。」と感じていました^^

以前は、相場に絶対はないんだから、明確な基準も確実な見極め方も存在しない、確率的に優位かどうかでしか考えられないのに・・・。なぜこういう質問がくるんだろう？と不思議に思っていたし、「確率」ではなく「確実」を求めている人なのかな？と感じていました。が、よくよく考えるとインジで売買サインを出して、それに従ってトレードするのが普通の感覚だと、当然の発想・疑問なのかもしれないな、と。

この5万円FXは、値動きの勢いを見てトレードするのが普通って私の感覚を元にまとめているので、もしかすると、インジを設定して売買サインを出すのが普通の感覚の方には、ものすごく難しいんじゃないかという気はしているんですね。難しい=出来ないって意味ではないです。「裁量」という言葉で捉えているイメージにかなりの開きがあるのではないかと意味です。

「裁量トレード」という言葉でイメージするのは、最終的な判断・意思決定は自分に委ねられている、ということだと思のですが、その「自分に委ねられている部分」が占める割合が大きいかわ小さいかが、脳みそ重視とインジ重視で始めた人では異なるのかな、と思います。私（脳みそ重視）にとっては、ほとんどの割合が自分でしょ？って普通に考えているんですがインジ重視の人にとっては、裁量の割合が低めなのかなと。

で、インジ重視での感じ方が悪いわけでも、それだと勝てないわけでもないんですが、この5万円FXのやり方でトレードの練習をしていくのであれば、最初に発想を大きく変える必要があるんじゃないかと思うので、その点を注意してほしい、認識しておいてほしいですね。スタートの発想が異なるのに気づいていないと、デモをやってもうまくいかないときに、原因が分からなくて自分にとっての課題を見つけられない、または見誤って努力の方向性が違うところにいつてしまう・・・などが考えられるからです。

私のトレードのやり方は例えて言うなら動物みたいな感じで、理性ではなく本能で、狙った獲物それも自分が楽に取れそうな獲物のみを虎視眈々と狙ってガブッと噛み付く。獲物が取れたらすぐに満腹して終了する、そういうイメージなんですよね。

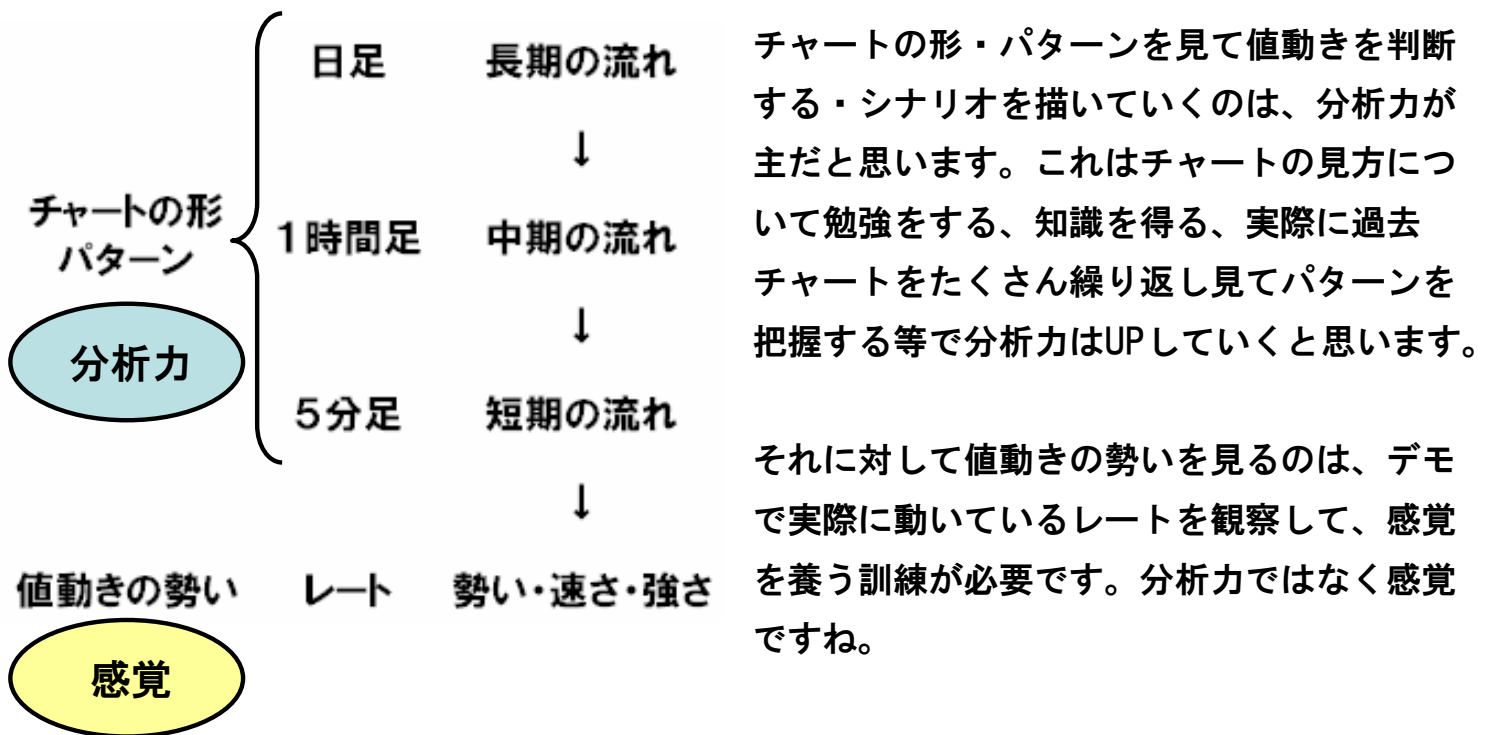
それに対して理性的で分析的な人にとっては、そういう本能で動くのって自然に行動にブレーキがかかりますよね。例えば、明日の天気は？って聞かれたら、私なら空を見て「多分、雨。」で終わりなんですけど^^、分析的な思考ができる人からすると、気圧配置や降水量・日照時間とかもろもろのデータを分析しないと答えられないと感じる、明確な根拠もなしに適切なことは言えないとブレーキがかかるんじゃないかな、と。

私が根拠なく適当にトレードしてるって意味ではないんで、そこは誤解しないでほしいんですが私にとっては検証やチャートパターンの分析は、あくまで自分の感覚の精度を上げるためであって、自分の感覚で最終的なトレードの決断しているってことです。検証や分析によってトレードで勝てる答えが決まるわけではない、と考えているってことなんです。

なので、5万円FXのやり方でトレードの練習・訓練をしてみて、自分が感覚重視タイプなのかインジ重視（分析重視）タイプなのかは把握するようにしてください。後者のタイプであれば何か他のインジを追加することを考えるほうがいいかと思いますし、その場合はデモで練習する前にバックテストをして検証することが必要になります。前者のタイプであれば、試しにインジなし、移動平均線もなしのローソク足だけのチャートを見てトレードしてみるなどの練習法が考えられます。

5万円FXの手法では日足・1時間足・5分足のチャートを見ますが、値動きの勢いというのは具体的にはレート表示（赤や青でチカチカしたり、矢印で上げ下げ表示されたりするアレ）の数字の移り変わりを私は見えています。レートって常に変動していますよね。

例えば、5分足が1本陽線で確定したからと言って、5分間ずっと上昇していたわけではなく、ちょこまか上げ下げを繰り返して結果的に陽線になったただけですから、チャートでローソク足の形や色だけを見ていると、分からないことってあるんですよね。もし同じ10 pipsくらいの長さの陽線だったとしても、その内容が違うわけです。それをレートの数字の推移を観察して、上げ下げの勢い・速さ・強さを感覚的に掴み取っていかようとしているわけなんです。



もともと私は感覚でトレードをやっていたので、ある程度、勢いを見る感覚ってというのは養われていたと思うんですが分析力が足りなくて負けていたんですよね。で、チャートのパターンを見て手法・ルール通りにトレードしていくのでも勝つことはできると感じます。というのは、私は練習の初期段階は、5分足確定を確認してから順張り発想エントリーをするのをルールにしてやっていたから感覚を封印していたことになるんです。それで根拠のある「待つ」ことができるようになって、手法・ルールをしっかり守れてトータルでプラスに出来る状態になってから、感覚も入れてもっと有利なポイントでエントリーできるように細かいタイミングを図る練習をしました。逆張り発想エントリーも柔軟に臨機応変にできるようにしたってことです。

でも感覚オンリーでそのタイミングを図れるようになったわけではないんです。

トータルでプラスに出来る自信がついて、リアルトレードでも実際に利益が少しずつ出せるようになってくると、手法について、より明確に理解できたり、深く考えられるようになったりするので、前ページの図の大きい流れ～レートの勢いまでを総合的に、連動させて値動きを見ることができるようになるんですね。そのため、トレードスキルが全体的にボトムアップしていく感じになって、全体的にトレードの精度が上がって成績も向上していきました。

最近（2010年3月末）では、勝率100%の日が続いてきたりはしていますが、これはそういう分析力と感覚がうまく統合されて、チャートを値動きを連動して考えられる・見極められるようになったことと、それに伴って「狙い方」「仕掛け方」の精度＝トレード実践力が上がってきたからだと思っています。

今だから分かることですが、最初からそういう状態を目指すのは厳しいと思います。私は1年かかって今の状態になってこれでしたが、ほんの数ヶ月前に自分でもこういう状態でトレードしている・出来ているとは想像もしていませんでした。今後この状態をキープしてトレードできるのかも分かりません。日々、チャートの見極め方とトレード実践力の統合とスキルUPに努力し続けるしかない、と考えています。

何が言いたいかというと、値動きの勢いを見るという「感覚」は、感覚なので具体的に説明することは不可能ですし、最初はその「感覚」がなくてもトータルプラスにする基礎固めは出来るはずなので、あまり捉われてはいけないと思います。特に私が公開しているトレードの成績を見てすぐに勝率100%に出来るとか、そこを一気に目指すとかを考えてしまうと、分析力も感覚もどっちも中途半端になってスキルUPにならない、ドツボにはまるんじゃないかと思えます。

値動きの勢いを見る感覚を養うのは、もちろん必要にはなってくるスキルの1つではあると思いますが、それより先にチャートのパターンを見て分析力を上げてトレードしていくことを地道に継続していかないと、その感覚を養うところまでいけないように思います。

分析力を上げてトレードする段階で、どうにもこうにもうまくいかない場合は、値動きの勢いを見る感覚の問題なのか、性格的に明確な判断基準がないと落ち着かないタイプなのかは自分で見極めていくしかないと思います。見極めるというのは、深く掘り下げて考えて自分にとっての課題を見つけていくことですし、掘り下げて考えていかないと、勝ち負けの結果だけに目が向いて「ダマシに合う」と感情的に捉えるだけになって、前に進めなくなるんじゃないかと思えます。

## ● リアルトレード開始前のチェックポイント

リアルトレードを開始する前に、チェックしておいたほうがよいポイントを挙げておきます。思いついたまま書きちゃってますけど…

YES！と感じたらリアルトレードに進んでください。まだちょっと不安が残る場合はデモで練習を続けてくださいね！

- ルールに従ってトレードできる
- ルールに従いつつ、相場状況に応じて柔軟に対応できる
- 値動きのクセ・波がなんとなく分かるようになった気がする
- 自分が冷静でいられなくなる損失額が分かっている
- 冷静さを欠いてきたなと思ったら迷わず手を引ける、PCから離れることができる
- 良い負けと悪い負けの違いが分かっている
- 勝つべくして勝てたのと、運よく助かっただけの違いが分かっている
- トレード中は損益の金額よりもpipsを見ている
- 自分の感情を客観的に見れていると感じる
- 目先の値動きだけ見てしまっていないか、常に注意している
- 感情が高ぶってきたときのリフレッシュ・リラックスする方法が分かっている
- 他人の勝ち負けや手法が気にならない
- 目先の勝ち負けより、1ヶ月後、3ヶ月後…のほうが重要だと思う
- 1回1回のトレードではなく、トータルで勝つことの意味が体感として分かる
- 損切りすることに葛藤・躊躇しない
- 欲張らずに「足るを知る」ことができていると思う
- 自分の強み・弱みが把握できている
- 負けたときに自分を責めたり、変に自己嫌悪に陥ったりせず、気持ちを切り替えられる
- 相場は明日もオープンしている、と割り切れる
- 損益よりも、どう勝ったか負けたか プロセスのほうが気になる